

世界人道サミット（2016年5月、イスタンブール開催）について

2014年7月14日

■概要

世界人道サミット（World Humanitarian Summit www.worldhumanitariansummit.org）とは、人道支援に関する国連主催の会議であり、第1回会議が2016年5月にトルコ・イスタンブールで開催されます。この四半世紀の間に活用されてきた人道支援の国際的なシステムを、近年の人道支援を取り巻く環境的变化に適合させることが、開催意義として挙げられます。気候変動による災害の増加、政治的対立などから起こる紛争の増加、人口の都市への集中、IT技術の目覚ましい発展、人道支援に関わる関係者の多角化のような様々な変化に対応するためには、既存の人道支援のあり方も変化していかなければなりません。

■テーマ

1. 人道支援の効果（Humanitarian Effectiveness）
2. 脆弱性の軽減・リスク管理（Reducing vulnerability, managing risks）
3. イノベーションを通じた変化（Transformation through innovation）
4. 紛争の影響下にある人々への支援（Serving the needs of people in conflict）

■コンサルテーション・イベント

世界人道サミットに向けて、世界8つの地域において「コンサルテーション・イベント」が行われます。また、このイベントに向けて、市民社会・国連機関・政府代表・企業などへ向けた事前コンサルテーションも実施されており、6月27日（金）に実施されたほか、7月22日（火）にもグループ・ディスカッションが予定されています。前者には、JCC2015から事務局の合田茂広（ピースポート災害ボランティアセンター）が出席し、後者にはJCC2015代表の大橋正明（JANIC）が参加予定です（詳細は別紙参照）。

■北アジア・東南アジア地域コンサルテーション・イベント概要

日程	2014年7月23日（水）、24日（木）
場所	三田共用会議所（東京都港区三田 2-1-8）
主催	日本政府・インドネシア政府
対象	ASEAN10カ国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ビルマ、ラオス）、東チモール、インド、ネパール、モンゴル、日本、中国、韓国から、政府・企業・CSO・被災コミュニティ・軍関係者・学識者など、約100名。
CSOからの参加者（抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・長有紀枝氏（ジャパン・プラットフォーム理事/AAR Japan 理事長） ・大橋正明（JCC2015代表/JANIC 理事長） ・小美野剛（CWS Japan / ACT Alliance / ADRRN） ・Manu Gupta氏（ADRRN、インド）

東日本大震災の教訓を世界に伝えていくために設立されたJCC2015として、世界人道サミットの4つテーマに関し、日本の事例をベースにインプットしていきます。特に、テーマ2「脆弱性の軽減・リスク管理」に関して、防災大国としての知見や経験から貢献できることが多くあると考えています。

■本件に関するお問い合わせ

2015 防災世界会議日本 CSO ネットワーク事務局（担当：JANIC 調査提言グループ 堀内）

TEL：03-5292-2911 / FAX：03-5292-2912 / Email：jcc_global@jcc2015.net